

Press Release

2020年3月31日

東京グローバルヘッドクォータ CO₂排出量ゼロの電力に切り替え

DMG 森精機株式会社(以下、DMG 森精機)は、2020年4月使用分より東京グローバルヘッドクォータ(以下、東京 GHQ)の電力供給会社をオリックス株式会社(本社:東京都港区)に切り替え、CO₂排出量ゼロの電力供給を受けます。これにより、東京 GHQ において電力使用による CO₂ 排出量ゼロを達成いたします。

これまでも DMG 森精機は、限りある資源と環境保護のために様々な取り組みを行ってまいりました。国内3拠点(伊賀事業所、奈良事業所、東京 GHQ)に太陽光発電設備を導入し、各拠点の照明を低消費電力、長寿命なLEDに取り換えました。また製品においても、不要な待機電力を抑え、効率的な加工プログラムを活用して加工時間を短縮することが出来る「GREENmode」を2017年9月から各工作機械に標準搭載し、最先端オペレーティングシステム CELOS により消費電力の削減、効果の見える化を行っています。

欧州の DMG MORI AKTIENGESELLSCHAFT においては、全ての生産拠点でエネルギー効率の改善とコストの削減を目的とした国際規格 ISO50001 に準拠したエネルギー管理を行っています。照明のLED化や、再生可能エネルギー由来の電力購入など、2020年にCO₂排出量を実質ゼロとすべくCO₂ニュートラルに向けた活動に重点的に取り組んでいます。

このたび東京 GHQ は、電力供給会社の切り替えにより、年間約385.8トン(2019年実績)のCO₂排出量を削減できる見込みです。これは、杉の木約2万7千本が1年間に吸収するCO₂に相当します。^{*1} 今後、国内の他の拠点にも導入を予定しております。

工作機械は使用年数が10年以上と長い分、省エネの効果は長期にわたり影響します。DMG 森精機は、これらの取り組みにより、グループ一丸となってお客様の生産性向上に寄与すると同時に、環境保護という観点から社会に貢献していきます。

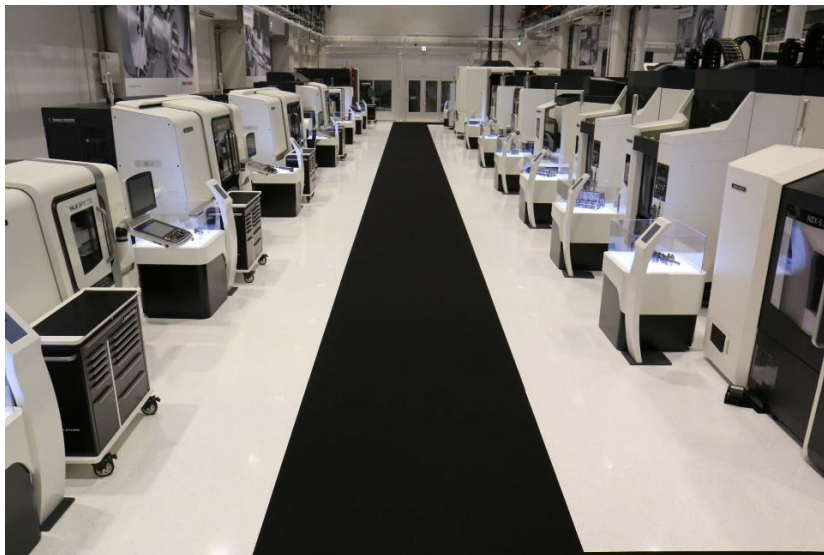
^{*1} 杉の木は年間14kg/本のCO₂を吸収(出典:環境省/林野庁)

【オリックス株式会社 会社概要】

- (1)社名 :オリックス株式会社
- (2)設立 :1964年4月
- (3)代表者 :取締役 兼 代表執行役社長・グループ CEO 井上 亮
- (4)本社 :〒105-6135 東京都港区浜松町2丁目4番1号 世界貿易センタービル
- (5)事業内容 :多角的金融サービス業
- (6)ホームページ :<https://www.orix.co.jp/grp/>



東京グローバルヘッドクォータ外観



東京ソリューションセンタ